

当事者から学ぶ

ソーシャルワーク実践

実践の主役は誰か？

ソーシャルワークは、既に 100 年以上の歴史を有し、日本においても一定の普及と浸透を見せてきた。しかし一方で、日本におけるソーシャルワーク実践は規定化された対象への実践に終始していたり、制度的サービスの執行のみの実践であったり、当事者主体でなく、支援者主体の実践に陥っていたりする危惧がある。我々は、不可視化され、周縁化され、抑圧されている人々のエンパワメントができていだろうか。また、我々は、生活困難を抱え苦しんでいる人々の解放のためのソーシャルワーク実践が展開できているだろうか。

これらを問題意識とし、「当事者から学ぶソーシャルワーク実践 実践の主役は誰か？」と題し、真に求められるソーシャルワーク実践を当事者や参加者と議論したい。我々の実践は「人々の為に」ではなく、「人々と共に」の実践であることを改めて求めていきたい。

5.25 (土) 13:00 ~ 16:30 (受付 12:30 ~)

公益財団法人東京都福祉保健財団 ウェルネスエイジ研修室 A

(東京都新宿区歌舞伎町 2-44-1 東京都健康プラザハイジア 4 階)

ハイブリッド方式にて開催 定員 100 名

(参加費：会員 3,000 円, 一般 4,000 円, 学生 1,000 円 ※懇親会別途有)

<スケジュール>

開会挨拶：

高石 豪（実行委員会委員長）

会長挨拶：

保良 昌徳（本協会会長）

基調講演：

坂本 新氏（特定非営利活動法人レスキューハブ代表）

「困難を抱える方々のために求められるもの」（仮）

シンポジウム：

シンポジスト

小川 多鶴（一般社団法人アクロスジャパン代表／本協会理事）

藤原 尚（大元酒類販売株式会社酒害相談室室長／本協会会員）

社会福祉法人麦の子会

コーディネータ

ヴィラーク・ヴィクトル（日本社会事業大学／本協会理事）

トークセッション：

・スピーカー

佐藤 抄美（一般財団法人泉崎南東北リハビリケアセンター） 上村 孝幸（NPO法人サスケ工房）

又吉 利奈（本協会会員）

・コーディネータ

有村 大士（日本社会事業大学／本協会会員）

・閉会挨拶

宮崎 牧子（大正大学／本協会副会長）



<アクセス>

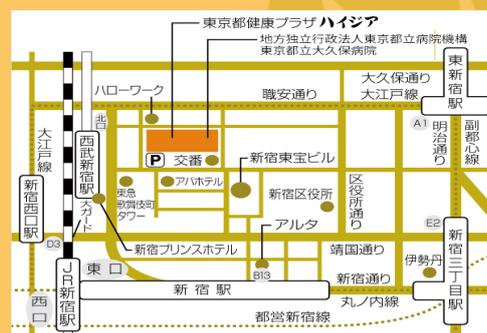
公益財団法人東京都福祉保健財団 ウェルネスエイジ研修室 A
(新宿区歌舞伎町 2-44-1 東京都健康プラザハイジア 4 階)

西武新宿駅北口より徒歩 2 分

大江戸線新宿西口駅 D3 出口より徒歩 5 分

JR 新宿駅東口より徒歩 7 分

都営新宿線新宿三丁目駅 E2 出口より徒歩 10 分 他



【お問合せ】

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会事務局

TEL : 03-5913-8871 / FAX : 03-5913-8872

E-mail : jasw@jasw.jp

窓口対応時間等 : 月曜日・水曜日・金曜日 / 10 時～ 17 時



申し込みはこちら